

国道13号 道路の法面・盛土等に関する対策(秋田県大仙市)

3か年緊急対策

国土強靱化

災害時の効果発揮事例

NATIONAL RESILIENCE

概要:平成29年7月豪雨では、累加降水量約400mmの大雨に伴う法面崩壊等の被災を受け、約12時間の通行止めが発生。被災箇所の応急復旧を行ったのち、3か年緊急対策として法面对策を実施した結果、令和4年8月の大雨では平成29年7月豪雨を上回る累加降水量約420mmの大雨を観測したが、大雨による変状等が生じることなく、交通機能を確保。

府省庁名:国土交通省

■ 実施主体:国土交通省 東北地方整備局

■ 対策の概要及び事業費

路線	対策内容	事業費	対策期間
国道13号	切土工 法面保護工 等	約3億円*	R2~R3

※秋田県 国道13号 維持管理における、3か年緊急対策事業費(法面・盛土)の総額

【位置図】



【対策内容】



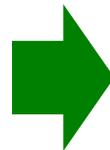
法面对策



【令和4年8月大雨の効果】

平成29年7月豪雨
累加降水量: 約400mm

・複数箇所で法面崩壊等の被災を受け、
約12時間の通行止めが発生



令和4年8月大雨
累加降水量: 約420mm

・被害なし(通行止めなし)

※累加降水量: H29年7月中、R4年8月中の降水量の累計値(気象庁 気象データ(事業箇所の近接箇所データ))